



平成30年6月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月8日

上場会社名 株式会社ボルテージ
コード番号 3639 URL <http://www.voltage.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 津谷 祐司

問合せ先責任者 (役職名) 経理/財務統括マネージャー (氏名) 古市 守

TEL 03-5475-8193

四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年6月期第2四半期の連結業績(平成29年7月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年6月期第2四半期	3,738	21.7	779		782		757	
29年6月期第2四半期	4,775	15.5	89	58.3	115	42.9	44	55.3

(注) 包括利益 30年6月期第2四半期 756百万円 (%) 29年6月期第2四半期 77百万円 (19.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年6月期第2四半期	148.35	
29年6月期第2四半期	8.81	8.76

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年6月期第2四半期	3,683	2,929	79.5
29年6月期	4,429	3,736	84.4

(参考) 自己資本 30年6月期第2四半期 2,929百万円 29年6月期 3,736百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年6月期		0.00		10.00	10.00
30年6月期		0.00			
30年6月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成30年6月期の配当予想は未定としております。

3. 平成30年6月期の連結業績予想(平成29年7月1日～平成30年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,000	9.3	900		900		750		

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年6月期2Q	5,198,074 株	29年6月期	5,197,774 株
期末自己株式数	30年6月期2Q	91,581 株	29年6月期	91,528 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年6月期2Q	5,106,343 株	29年6月期2Q	5,104,543 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調が続く中で、企業収益は改善しました。個人消費は、消費者マインドが持ち直しており、実質総雇用者所得も緩やかに増加するなど、緩やかに持ち直しております。

このような環境の中、モバイルコンテンツ業界においては、平成29年6月時点の日本国内の15歳から69歳の男女におけるスマートフォン所有者は推計74.7%となっており、その内の約54%がスマートフォンゲームを利用しております(注1)。

当社グループにおきましては、当期より、「日本語女性向け」「英語女性向け」「その他」の3区分で事業を運営しております。

当第2四半期連結累計期間における売上は、「英語女性向け」「その他」が増加したものの「日本語女性向け」が大幅に減少し、3,738,462千円(前年同期比21.7%減)となりました。費用は、テレビCMの出稿やモバイル広告の出稿量増加により広告宣伝費が大幅に増加したものの、売上減少に伴う販売手数料の減少や制作及びシステム外注費の減少等があり、若干減少しました。その結果、営業損失は779,374千円(前年同期は営業利益89,265千円)、経常損失は782,303千円(同 経常利益115,550千円)となりました。

また、当期第1四半期決算において、今後の業績見通し等を踏まえた繰延税金資産の回収可能性について検討を行い、税務上の欠損金に係る繰延税金資産を計上することとしました。さらに、平成30年1月25日付の「平成30年6月期 連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表しました通り、平成30年6月期の連結業績予想を修正したことにより、当第2四半期決算において再度、繰延税金資産の回収可能性について検討を行いました。それに伴い、当第2四半期連結累計期間において法人税等調整額を含む法人税等△39,622千円を計上したため、親会社株主に帰属する四半期純損失は757,504千円(同 親会社株主に帰属する四半期純利益44,945千円)となりました。

事業区分別の業績は、以下の通りであります。なお、当期第1四半期連結会計期間より、事業区分を変更しておりますので、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後の事業区分に組み替えて比較しております。

①日本語女性向け

日本語女性向けは、「恋愛ドラマアプリ」「シークドラマ(注2)」「チームドラマ(注3)」「モーション(注4)」及び「パズルアクションゲーム(注5)」が該当します。

主に「恋愛ドラマアプリ」の減少が続き、売上高は2,672,333千円(前年同期比32.4%減)となりました。

②英語女性向け

英語女性向けは、「L10N(注6)」「DRAGON(注7)」及び「US REAL(注8)」が該当します。

主に「DRAGON」が大幅に増加したことにより、売上高は891,418千円(前年同期比29.6%増)となりました。

③その他

その他は、「男性向けサスペンス」のほか、VR・AR技術を用いたコンテンツや、アニメ・IP展開(グッズ・イベント等)が該当します。

主に「男性向けサスペンス」が増加したことにより、売上高は174,710千円(前年同期比30.3%増)となりました。

- (注) 1. 出所：株式会社セガゲームスゲームスタイル研究所「スマートフォン利用動向調査2017年6月」2017年9月19日発表
2. シークドラマ：「ダウト～嘘つきオトコは誰?～」の仕様をベースに制作されるコンテンツ。従来の恋愛ドラマアプリとは一線を画し、ストーリーだけでなく調査や審判等の要素を持つ
3. チームドラマ：ユーザーが主人公となりキャラクターとの恋愛を楽しむ恋愛ドラマアプリと異なり、キャラクター同士で展開するストーリーを楽しむコンテンツ
4. モーション：株式会社ボルモで制作するモーションタイプのコンテンツ。なお、当該子会社は平成30年2月8日現在、解散し清算手続き中であり、株式会社ボルテージがコンテンツ運営を行う
5. パズルアクションゲーム：株式会社ボルスタで運営するコンテンツ。なお、当該子会社は平成30年2月8日現在、解散し清算手続き中であり、株式会社ボルテージがコンテンツ運営を行う
6. L10N：北米市場向けアニメ絵であり、日本語版恋愛ドラマアプリを翻訳したコンテンツ。Localizationを意味する省略表記
7. DRAGON：北米市場向けアニメ絵であり、北米市場向けに作ったコンテンツ。北米向けにアレンジされたドラゴンロール寿司に

由来。対ユーザー呼称AmeMix(アメミックス)
8. US REAL:北米市場向けリアル絵のコンテンツ

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、3,683,312千円(前連結会計年度末比746,355千円減)となりました。

流動資産は、2,582,646千円(同823,410千円減)となりました。その主な要因は、収益の減少及び外国債券の購入等による現金及び預金の減少801,067千円によるものであります。

固定資産は、1,100,665千円(同77,055千円増)となりました。その主な要因は、外国債券の購入等による投資その他の資産の増加144,923千円によるものであります。

(負債の部)

負債合計は、754,014千円(同60,934千円増)となりました。

流動負債は、754,014千円(同60,934千円増)となりました。その主な要因は、広告出稿増加等による未払費用の増加66,040千円によるものであります。

(純資産の部)

純資産は、2,929,297千円(同807,289千円減)となりました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上による利益剰余金の減少808,567千円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比較して801,067千円減少し、1,331,357千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、546,831千円の資金を支出する結果(前年同期比822,626千円の収入の減少)となりました。その主な減少の要因は、税金等調整前四半期純利益の減少910,860千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、207,571千円の資金を支出する結果(同61,971千円の支出の増加)となりました。その主な増加の要因は、投資有価証券の取得による支出の増加114,440千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、50,697千円の資金を支出する結果(同126,575千円の支出の減少)となりました。その主な減少の要因は、自己株式の取得による支出の減少99,859千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは平成30年6月期第3四半期以降も引き続き、「3年戦略(平成29年6月期から平成31年6月期)」に基づき事業を運営してまいります。

具体的には、「魔界王子と魅惑のナイトメア」など新規タイトルの投入や、既存タイトルのベース改善、広告出稿の効率化等を行ってまいります。

以上の結果、平成30年6月期の連結業績予想は、平成30年1月25日付の「平成30年6月期 連結業績予想の修正に関するお知らせ」でも公表しました通り、売上高は8,000百万円(前連結会計年度比9.3%減)、営業損失は900百万円(前連結会計年度は営業利益141百万円)、経常損失は900百万円(同経常利益158百万円)、親会社株主に帰属する当期純損失は750百万円(同親会社株主に帰属する当期純利益24百万円)を見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,132,425	1,331,357
売掛金	1,130,273	1,076,323
前払費用	99,886	85,841
繰延税金資産	24,704	45,827
その他	19,409	43,907
貸倒引当金	△642	△610
流動資産合計	3,406,057	2,582,646
固定資産		
有形固定資産	146,239	118,137
無形固定資産		
ソフトウェア	367,776	319,045
コンテンツ	-	8,964
無形固定資産合計	367,776	328,009
投資その他の資産	509,595	654,518
固定資産合計	1,023,610	1,100,665
資産合計	4,429,667	3,683,312
負債の部		
流動負債		
買掛金	123,997	116,511
未払金	270	7,345
未払費用	499,877	565,918
未払法人税等	40,899	9,540
その他	28,035	54,699
流動負債合計	693,080	754,014
負債合計	693,080	754,014
純資産の部		
株主資本		
資本金	936,499	936,549
資本剰余金	902,099	902,149
利益剰余金	1,977,347	1,168,780
自己株式	△100,139	△100,222
株主資本合計	3,715,807	2,907,257
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,611	1,824
為替換算調整勘定	19,168	20,216
その他の包括利益累計額合計	20,780	22,040
純資産合計	3,736,587	2,929,297
負債純資産合計	4,429,667	3,683,312

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年12月31日)
売上高	4,775,733	3,738,462
売上原価	2,030,565	1,764,916
売上総利益	2,745,168	1,973,546
販売費及び一般管理費	2,655,903	2,752,921
営業利益又は営業損失(△)	89,265	△779,374
営業外収益		
受取利息	329	336
受取配当金	78	53
為替差益	21,117	-
雑収入	4,770	1,048
営業外収益合計	26,295	1,438
営業外費用		
為替差損	-	4,229
雑損失	9	137
営業外費用合計	9	4,366
経常利益又は経常損失(△)	115,550	△782,303
特別損失		
固定資産売却損	1,817	8,232
減損損失	-	6,591
特別損失合計	1,817	14,824
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	113,733	△797,127
法人税、住民税及び事業税	94,097	3,633
法人税等調整額	△13,641	△43,255
法人税等の更正、決定等による納付税額又は還付税額	△11,668	-
法人税等合計	68,787	△39,622
四半期純利益又は四半期純損失(△)	44,945	△757,504
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	44,945	△757,504

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年7月1日 至 平成28年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年7月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	44,945	△757,504
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,886	212
為替換算調整勘定	30,287	1,047
その他の包括利益合計	32,173	1,260
四半期包括利益	77,119	△756,244
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	77,119	△756,244

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年7月1日 至 平成28年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年7月1日 至 平成29年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	113,733	△797,127
減価償却費及びその他の償却費	64,276	37,471
ソフトウェア償却費	127,260	105,745
減損損失	-	6,591
貸倒引当金の増減額(△は減少)	6	△32
固定資産除売却損益(△は益)	1,817	8,232
受取利息及び受取配当金	△407	△389
為替差損益(△は益)	△34,051	△3,603
売上債権の増減額(△は増加)	179,768	54,689
仕入債務の増減額(△は減少)	6,322	△7,509
未払消費税等の増減額(△は減少)	△55,747	△23,092
未払費用の増減額(△は減少)	△88,871	65,584
その他	32,416	25,569
小計	346,523	△527,869
利息及び配当金の受取額	407	389
法人税等の支払額	△82,803	△26,917
法人税等の還付額	11,668	7,566
営業活動によるキャッシュ・フロー	275,795	△546,831
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△48,962	△10,916
有形固定資産の売却による収入	-	1,396
無形固定資産の取得による支出	△96,213	△72,766
敷金及び保証金の差入による支出	△423	△11,291
敷金及び保証金の回収による収入	-	448
投資有価証券の取得による支出	-	△114,440
投資活動によるキャッシュ・フロー	△145,600	△207,571
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	324	100
自己株式の取得による支出	△99,942	△82
配当金の支払額	△77,654	△50,714
財務活動によるキャッシュ・フロー	△177,272	△50,697
現金及び現金同等物に係る換算差額	58,576	4,032
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	11,498	△801,067
現金及び現金同等物の期首残高	2,237,800	2,132,425
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,249,299	1,331,357

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、モバイルコンテンツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。